

(様式3)

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立国富小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間	平田のまちめぐり (3・4年)	久多美の柿農家 (国富地域在住) 木綿街道 (岡醤油店、來間生姜糖屋)
ねらい		○平田地区をバスで回ったり、歩いたりして、自分たちの住んでいる平田地区への関心を高める。 ○地域講師を迎え、ふるさとのことを知るとともに、地域への愛着を高める。	
<p>1 取組の概要</p> <p>①3年生と一緒に平田地区を回る4年児童が平田地区について調べてまとめる。</p> <p>②「平田まちめぐり」として、3・4年生と一緒に平田地区(十六島、久多美の柿農家、木綿街道のお店)を回る。</p> <p>③4年児童が「平田まちめぐり」で回る場所でまとめたことを3年生に紹介する。</p> <p>④自分が見つけた平田地区のよさについて作文などにまとめる。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○地域の「ひと・もの・こと」に主体的にふれ、愛着を持っていけるように地域人材との関わりを意図的に持たせる。</p> <p>○毎年、同じ活動を行うことで、平田地区についての学びを年々、深化していくようにする。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○魅力ある直接体験の場を設けることで、学ぶ意欲の向上に努める。</p> <p>○「ふるさとのよさ」を大切にしている人々の思いや工夫・努力に着目することで、ふるさとのよさに気付くことができるようにする。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○平田まちめぐりで巡った木綿街道の店に再度、訪れる児童もいた。</p> <p>○来年は4年生として平田地区のことを3年生に伝えたいという意欲を高めることができた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○地域の「ひと・もの・こと」に対し、主体的に関わり活動したことで、地域の様々な資源や人々との関りが重要であることを実感し、学ぶ意欲の向上が見られた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>○地域の教育資源を効果的に活かすよう、地域の“ひと・もの・こと”の整理及び発掘に努める。</p> <p>○今年度末に、各学年の実施状況を整理し、今年度当初に計画した6年間のふるさと学習の実施計画の手直しをして、次年度へ臨めるようにする。</p> <p>○交通手段(教育バス等)の確保を図る。</p>			



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)